

## 『建物のライフサイクルと維持保全（新訂版）』の刊行にあたって

平成17年に初版を上梓いたしました「建物のライフサイクルと維持保全」は、建物の維持保全を体系的に示した我が国では唯一の入門書として、大学における講義テキストや関係企業の若手社員向け研修教材などに、広くご活用いただいております。

しかしながら、刊行後13年が経過する間には、社会情勢、技術、制度などが大きく変化してきましたので、版を重ねるごとに一定の修正を施してはまいりましたが、見直しは避けられない状況となっていました。

このため、本書がこれまで読者からご支持を得てきていることも踏まえ、維持保全の初学者にも理解できるよう、できるだけ分かりやすく必要な事項を丁寧に解説するという編集方針は維持しつつ、必要な変更を加えるという考え方の下に初めての大きな改訂に取り組むことといたしました。改訂にあたりましては、入門書ではありますが、当協会における研究の深化も念頭に置くこととし、近年の刊行物の記載内容についても可能な限り取り入れることにより、本書一冊で、建物の維持保全の基礎から最新の動向にまで触れることができるように努力したつもりであります。

本書「建物のライフサイクルと維持保全（新訂版）」の編集作業は決して簡単なものではありませんでしたが、協会内で精力的に議論と検討を進めた結果、この度、ようやく刊行に至ったものであります。

一人でも多くの方々に本書をご利用いただくことで、建物の維持保全に対する社会的な関心が深まり、本協会の使命であります建物のロングライフ化の進展にいささかでも寄与することができれば、幸いに存じます。

平成30年9月

公益社団法人 ロングライフビル推進協会  
専務理事 田中 淳